

# 夢のつばさ♥プロジェクト

「夢のつばさ♥プロジェクト」は、東日本大震災で親を失った子どもたちを長期にわたって支援することを目的として、お茶の水学術事業会を中心としたNPO法人4団体によって進められている事業です。

## 2018年夏キャンプ

【実施期間】 2018年8月4日(土)～7日(火)

【開催地】 (株)ブリヂストン保養所 奥多摩園(青梅市)

【参加内訳】 小学生11名、中学生5名、高校生4名、専門学校生2名、学生ボランティアスタッフ58名(入替え有、OB/OG含む)、社会人スタッフ/協力者13名(看護師含む)

【主な内容】

8月4日	TEPIA 先端技術館見学、開会式	受験生企画
8月5日	朝の勉強会、謎解き脱出ゲーム、ゆめリンピック競技練習、音楽会	
8月6日	朝の勉強会、水遊び、ゆめリンピック大会	
8月7日	閉会式、写真スライドショー	

今夏は大変な酷暑で、夢のつばさでも、まずは子どもたちの体調管理を第一に考えて夏キャンプに臨みました。大学生は数か月、キャンプに向けてさまざまな企画準備を重ねています。子どもたちには全力で取り組んで、夢中になって楽しんでほしい、けれど熱中症にならないように、とハードルの高い3泊4日の活動となりました。

1日目は、東京駅からバスで、TEPIA 先端技術館へ見学に行きました。TEPIAでは、下見に行った学生が、シアターのスカイツリー建設の映像にある大震災関連の場面に気付



き、PTSDの可能性のある心の傷の癒えない子どもがいることをお話しすると、差し替えるなどの配慮をしてくださ

りました。映像視聴後は、パソコン上でプログラミングして、小さなドローンを飛ばして目標に着陸させる体験や、社会で活かされつつある最先端技術の展示や

実演を楽しみました。子どもたちは興味津々で、出発時刻になっても立ち去り難い様子でした。

2日目は、謎解きをして危機を打開するゲームに取り組みました。年々大学生の企画力が上がっており、よく工夫された課題で、大学生も一体となつてのチームの連帯感や達成感も高まりました。夕食後は恒例の音楽会です。ハーモニカ奏



者の大竹英二様とギタリストの岩田裕樹様が、時に軽快に、あるいは情感豊かに演奏くださいました。

3日目は、ゆめリンピック大会です。チームに分かれて、「ゴールボール(目隠しをして鈴入りボールを転がし合い、相手ゴールにボールを入れる)」、「シッティングバレーボール」などで競い合いました。これらは、パラリンピックなどで行われている種目です。炎天下の移動で体調を崩すことのないように、近隣の体育館に出かける予定を変更して奥多摩園の大研修室で行いましたが、集中力や技術も必要で、皆、夢中になって盛り上がりました。

キャンプ中、中学3年生を対象に個人教授を行うプログラムも実施、18歳となった子ども3名が、学生スタッフとなつてキャンプ運営に参加し、頑張っていたのもうれいことでした。



(夢のつばさ♥プロジェクト)

ご寄附のお願い

【口座】三井住友銀行 大塚支店(店番号227) 普通1284200

【名称】特定非営利活動法人 お茶の水学術事業会 理事長 平野由紀子 ※夢のつばさプロジェクトの専用口座です。ご寄附いただく際には、ご芳名、ご住所(連絡先)を下記までお知らせください。

※恐れ入りますが、税金控除の対象にはなりませんので、あらかじめご了承ください。

連絡先: 事務担当 滝澤公子 TEL&FAX: 03-5978-5362 E-mail: tsubasa@npo-ochanomizu.org